

## 新年のごあいさつ



迎春

東京ヨットクラブ 会長 小島 正和  
(TEAM 10 Jr.)

新年明けましておめでとうございます。

今年も皆さまの御健康と御安航を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は安全祈願祭から始まり、年間ヨットレースの説明会、練習会、そして海上保安部殿の指導のもと安全講習会を行ってヨットレースを3月から開始する事が出来ました。

その後“子供の日ボランティア”、TYC 総会と“安全フェスティバル”、海ほたるを回航する人気ヨットレース“スバルザカップ”を開催、夏には回航時に強風だったため艇数は少なかったものの“保田ミーティング”を実施しました。秋には恒例の“マリンフェスティバル体験乗船”を行い、12月には“ヨットレースの年間表彰式”および“TYC 忘年会”で無事に1年を締めくくる事が出来ました。

その他にもマリーナで行う各種イベントへの参加、有志によるパーティー、他マリーナおよび友好クラブで主催するイベント等にも参加してまいりました。

これらの行事は皆さまのご理解とご協力によって安全で楽しいイベントとなり役員一同感謝しております。

TYC では、一昨年のレース中に起こった海難事故を受けてレース運営の見直し、安全対策の改善はもちろん、マリーナ運営母体でありますスバル興業殿また海上保安部殿と連携・協議しながら健全な海洋スポーツ・レジャーを推進していく方策を考えているところであります。

その中で、発足当初からマリンスポーツを通じて、TYCの3原則を訴えてきました。それは、

1. 安全性の追求
2. 帆走技術・操船技術の向上
3. 会員同士の親睦

すなわち、安全第一を最優先に、技術の向上、そして夢の島マリーナ係留艇およびスタッフの皆様はもちろん、他マリーナ・クラブさらには海外のマリーナ・クラブの皆様との交流を深めることによって、すばらしいマリンライフを創造するとともにシーマンシップの向上を図る事を目的としております。

ご承知のように、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、日本セーリング連盟（JSAF）では東京オリンピック準備委員会を発足して動き始めています。TYC も近隣ヨットクラブとして準備委員会のメンバーとなって参画しています。

当初オリンピックのセーリング競技会場が若洲の先端（ゲートブリッジの真下）に新たに「若洲オリンピックマリーナ」として建設される事が計画されていきました。その後予算の関係で計画の見直しがあり、江の島ヨットハーバーまたは稲毛ヨットハーバーが候補地として挙げられましたが、最終的には現在の若洲ヨット訓練所を拡張・整備する事で決定しました。これは昨年12月にJSAFの意向によりJOCがIOCに提案をして承認されたものです。

普段TYCのクラブレースも若洲沖で行っていることから、レース運営、ホスピタリティーに関して各関係機関もTYCに期待するところが大きく、我々もヨット、パワーボートの方々を問わずこの大きなイベントを支援していきたいと思っております。

皆さまにもTYCとしてJSAFにボランティア登録を行って頂き、この世紀の大会を支援して頂きたいと思っております。

今年もヨットレースにおいてTYC独自の安全基準を構築し、クルージングを含めて安全第一を最優先に活動して行きたいと思っております。

皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

**平成27年元旦**